学校番号	４０５

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学) 日本史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「日本史探究」（東京書籍）　「要点マスター　日本史探究」（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は、史資料を多く活用し、歴史的事象について用語を暗記するにとどまらず、因果関係やその後の世界に与えた影響などについて考察する活動を積極的に行う。
・生徒は、授業前に予習を行い、授業でその知識を生かして発展的な内容について理解を深めることが望ましい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1部　原始・古代	第１章 日本文化のあけぼの 第２章 古墳とヤマト政権 第３章 律令国家の形成 第４章 貴族政治の展開	a:・旧石器文化・縄文文化の成立と変容や、水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解している。 ・中国大陸・朝鮮半島との関係に着目し、小国の形成過程や古墳の特色、推古朝の政権運営や飛鳥文化の特色について理解している。 ・隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の整備、仏教文化、平安遷都前後の諸政策について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解している。 b:・出土品から得られる情報等を収集して多面的・多角的に考察し、表現している。 ・中国大陸・朝鮮半島との関係に着目し、小国の形成過程や古墳の特色、推古朝の政権運営や飛鳥文化の特色について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の整備、仏教文化、平安遷都前後の諸政策について、多角的・ 多面的に考察し、表現している。 ・唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察し、表現している。 c:・歴史資料の特性を踏まえ，資料を通して読み取れる情報から，原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し，仮説を表現する活動に主体的に取り組んでいる。	・授業の態度 ・確認テスト ・発問と応答 ・課題の提出 ・定期考査	・授業の態度 ・確認テスト ・発問と応答 ・課題の提出 ・定期考査	・授業の態度 ・確認テスト ・発問と応答 ・課題の提出

1学期	第2部　中世	第５章 院政と武士の躍進 第６章 武家政権の成立 第７章 武家社会の成長	a:・武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組み、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について理解している。 ・幕府と朝廷の二元的支配構造の特色、武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響、鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義を理解している。 ・地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響、自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景、堺や博多など都市の発展にみられる戦国時代の社会の多様性について、理解している。 b:・武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組み、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・幕府と朝廷の二元的支配構造の特色、武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響、鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義を多角的・多面的に考察し、表現している。 ・地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響、自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景、堺や博多など都市の発展にみられる戦国時代の社会の多様性について、多面的・多角的に考察し、表現している 。 c:・歴史資料の特性を踏まえ，資料を通じて読み取れる情報から，中世の特色について多面的・多角的に考察し，仮説を表現する活動に主体的に取り組んでいる。	・授業の態度 ・確認テスト ・発問と応答 ・課題の提出 ・定期考査	・授業の態度 ・確認テスト ・発問と応答 ・課題の提出 ・定期考査	・授業の態度 ・確認テスト ・発問と応答 ・課題の提出

２学期	第３部　近世	第９章 幕藩体制の成立と展開 第１０章 幕藩体制の動揺	a:・江戸幕府による貿易統制の意義、新たな支配制度のもとにおける人々の生活の具体相、戦乱のない時代が創出されたことの意義、陸上・水上における交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達との関連、近世前期における幕府の統治政策や藩財政の推移と文化との関係について理解している。 ・幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化、宝暦・天明期における文化の展開、飢饉や一揆への対応、外交政策の転換、経済の動向と上方の豪商との関係性などについて理解している。 b:　・交通・流通の発達，都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して，主題を設定し，近世の国家・社会の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などについて根拠を示して表現している。 c:・幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化、宝暦・天明期における文化の展開、飢饉や一揆への対応、外交政策の転換、経済の動向と上方の豪商との関係性などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	・授業の態度 ・確認テスト ・発問と応答 ・課題の提出 ・定期考査	・授業の態度 ・確認テスト ・発問と応答 ・課題の提出 ・定期考査	・授業の態度 ・確認テスト ・発問と応答 ・課題の提出

2学期	第4部　近代・現代	第１１章 近世から近代へ 第１２章 近代国家の成立 第１３章 近代国家の展開 第１４章 近代の産業と生活 第１５章 恐慌と第二次世界大戦	a:・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、開国に至る経緯、政治・経済の変化と思想への影響に着目し、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。 ・明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題、自由民権運動の展開過程を理解している。 ・諸資料から適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したこと、国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充、学問・芸術・出版・マスメディアの発展について理解している。 ・連続した恐慌と政府の対応、恐慌と国際関係、満洲事変に際しての世論や軍部の台頭と対外政策、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 b:・幕藩体制の崩壊と新政権の成立について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題、自由民権運動の展開過程について、多面的・多角的に考察している。 ・アジアや欧米諸国との関係，欧米の思想・文化の影響などに着目して，主題を設定し，日本が近代国家へ移行する過程について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ・地域社会の変化，戦争が及ぼした影響，産業の発達の背景と影響，労働や生活の変化，教育の普及とその影響などに着目して，近代の政治の展開と国際的地位の確立，日本の工業化の進展，近代の文化の形成について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・アジアや欧米諸国との関係，戦争が及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，政党政治の展開と国際的地位の確立，第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済，国民の政治参加の拡大について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ・国際社会やアジア近隣諸国との関係，政治・経済体制の変化，戦争の推移と国民生活への影響などに着目して，主題を設定し，第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ・諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について、多面的・多角的に考察し、表現している。	・授業の態度 ・確認テスト ・発問と応答 ・課題の提出 ・定期考査	・授業の態度 ・確認テスト ・発問と応答 ・課題の提出 ・定期考査	・授業の態度 ・確認テスト ・発問と応答 ・課題の提出

			c:・日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。 ・対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。			

3学期	第4部　近代・現代	第１６章 占領下の日本 第１７章 高度成長の時代 第１８章 激動する世界と日本	a:・戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定、占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。 ・保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化を理解している。 ・日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったこと、冷戦終結後の国際関係、55 年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 b:・戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定、占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料をもとに、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化について、多角的・多面的に考察し、表現している。 c:・第二次世界大戦後や冷戦終結後の日本の国際社会における様々な取り組み、果たしてきた役割について、課題を主体的に追究しようとしている。 ・「国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業の態度 ・確認テスト ・課題の提出 ・発問と応答 ・定期考査	・授業の態度 ・確認テスト ・課題の提出 ・発問と応答 ・定期考査	・授業の態度 ・確認テスト ・課題の提出 ・発問と応答

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度